

第5次新座市総合計画実施計画 事務事業評価シート

(対象：令和6年度実施事業)

1 事業基礎情報 (Plan)				3 事業評価 (Check)			
基本政策	第2章 基本政策2 生きる力と生きがいを育むまち【教育文化】			事業の実施状況	B	A：計画以上に実施 B：計画どおりに実施 C：計画どおりに実施できず	
施策領域	第4節 生涯学習			事業の必要性【市民ニーズ】	B	A：高まっている B：変わらない C：薄れている	
施策項目	施策1 生涯学習の推進			事業の効率性【見直す余地】	A	A：余地はない B：余地はある	
事業	社会教育団体補助			施策への貢献度	A	A：貢献している B：やや貢献している C：貢献の度合いが低い	
所属	生涯学習スポーツ課			事業の成果・分析 社会教育に携わる各団体に対し、補助金の交付及び活動支援を行った。各団体が自主的かつ主体的に事業活動を行うことができるよう、今後も継続して補助が必要と考える。それぞれ、市民文化の向上（新座市文化協会）・児童や生徒の福祉の増進と学校教育の振興（新座市PTA・保護者会連合会）・婦人の地位向上（新座市婦人会連合会）を目的とし活動する団体に対し補助を行うことで、誰もが生きがいを持って暮らすことができるまちづくりに寄与している。			
事業概要	自主的・主体的な事業活動及び健全かつ適切な事業展開を図る社会教育関係団体に対し、補助を行う。						
実施形態	<input checked="" type="checkbox"/> 市が直接実施 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 全部委託・指定管理 <input type="checkbox"/> その他						
実施根拠	<input type="checkbox"/> 国・県の制度 <input type="checkbox"/> 国・県の制度+市独自の制度 <input checked="" type="checkbox"/> 市独自の制度						
根拠法令等	団体等に交付する補助金等交付要綱						
2 事業実績 (Do)				4 事業の今後の方向性・取組方針 (Action)			
		年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
予算・決算	予算現額(円)		1,916,000	2,016,000			
	財源内訳	一般財源	1,916,000	2,016,000			
		特定財源等	0	0			
	支出済額(円)		1,916,000	1,910,232			
	不用額(円)		0	105,768			
	執行率(%)		100.00%	94.75%			
実施内容		社会教育関係団体が設置目的に基づく事業活動を自主的かつ主体的にできるよう、また、健全かつ適切に事業展開が図れるよう補助を行った。 補助団体数 3団体 ・新座市文化協会 ・新座市PTA・保護者会連合会 ・新座市婦人会連合会					
		年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
活動指標・成果指標	指標名	単位					
	補助件数	件	3	3			
今後の方向性		Ⅲ					
		I：事業規模拡大 II：改善しながら継続 III：現状のまま継続 IV：事業規模縮小 V：事業廃止 VI：事業終了					
今後の取組方針		今後も各社会教育関係団体と連携・協力を図りながら、各団体が事業活動を自主的かつ主体的に行うことができるよう、継続して補助を行っていく。					

第5次新座市総合計画実施計画 事務事業評価シート (対象：令和6年度実施事業)

1 事業基礎情報 (Plan)				3 事業評価 (Check)				
基本政策	第2章 基本政策2 生きる力と生きがいを育むまち【教育文化】			事業の実施状況	B	A：計画以上に実施 B：計画どおりに実施 C：計画どおりに実施できず		
施策領域	第4節 生涯学習			事業の必要性【市民ニーズ】	B	A：高まっている B：変わらない C：薄れている		
施策項目	施策1 生涯学習の推進			事業の効率性【見直す余地】	B	A：余地はない B：余地はある		
事業	にいざプラスカレッジ			施策への貢献度	A	A：貢献している B：やや貢献している C：貢献の度合いが低い		
所属	生涯学習スポーツ課			事業の成果・分析	各大学の教授がコーディネーターとなってカリキュラムの作成を行うことで、専門性の高い講義を市民に提供でき、アンケートでも満足度の高い結果となっている。講義内容以外にも、大学キャンパスに通う機会や他の受講生と交流する機会として、今後の開催を楽しみにする声も多く、必要性の高い事業であると考え。市民の生涯学習の場として、生きる力と生きがいの創出に寄与している。講義当日は、市職員及び運営補助員（過去の受講生）による運営体制を取っており、市民による主体的な運営をより一層推進する方策については検討の余地がある。			
事業概要	「にいざプラスカレッジ」を実施する。 開催予定コース・会場 (1) にいざまなびコース 跡見学園女子大学 (2) にいざデザインコース 十文字学園女子大学 (3) (仮称) にいざウエルネスコース 立教大学							
実施形態	<input type="checkbox"/> 市が直接実施 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 全部委託・指定管理 <input checked="" type="checkbox"/> その他							
実施根拠	<input type="checkbox"/> 国・県の制度 <input type="checkbox"/> 国・県の制度+市独自の制度 <input checked="" type="checkbox"/> 市独自の制度							
根拠法令等	なし							
2 事業実績 (Do)				4 事業の今後の方向性・取組方針 (Action)				
予算・決算	年度		令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	
	予算現額(円)		1,037,000	1,009,000				
	財源内訳	一般財源	767,000	739,000				
		特定財源等	270,000	270,000				
	支出済額(円)		768,852	953,958				
	不用額(円)		268,148	55,042				
執行率(%)		74.14%	94.54%					
実施内容		「自分を高め、地域を高める」学習の場をさらに推進するため、自分自身も地域もプラスとなるような学び舎となることを目指し、にいざプラスカレッジを開学した。 開学にあたっては、市長・教育長・市内3大学の関係者等で構成するにいざプラスカレッジ運営委員会を設置し、協議を行った。各大学の協力を得て、講師や教室等を提供して頂きながら実施した。 ・開催期間 令和6年9月～12月 ・運営委員数 7人 ・開催コース (1) 教養コース (2) まちづくりコース (3) ウエルネスコース						
活動指標・成果指標	年度		令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	
	指標名		単位					
	修了者数		人	64	69			
	修了者率		%	87.7	87.3			
	受講満足度		%	87	96			
	運営委員会開催回数		回	2	2			
今後の方向性		<div style="display: flex; align-items: center; justify-content: center;"> <div style="font-size: 36px; margin-right: 10px;">II</div> <div> I：事業規模拡大 II：改善しながら継続 III：現状のまま継続 IV：事業規模縮小 V：事業廃止 VI：事業終了 </div> </div>						
今後の取組方針		今後も定期的に運営委員会を開催し、市民の学習ニーズの把握に努めながら取り組んでいく。引き続き各大学、コーディネーター及び運営補助員等と連携を図り、より良い運営方法を検討しながら、継続して事業を実施する。 また、運営補助員制度については、運営スタッフ制度に名称及び内容を改め、市民による主体的な運営をより一層推進していく方針である。						

第5次新座市総合計画実施計画 事務事業評価シート

(対象：令和6年度実施事業)

1 事業基礎情報 (Plan)				3 事業評価 (Check)			
基本政策	第2章 基本政策2 生きる力と生きがいを育むまち【教育文化】			事業の実施状況	B	A：計画以上に実施 B：計画どおりに実施 C：計画どおりに実施できず	
施策領域	第4節 生涯学習			事業の必要性 【市民ニーズ】	A	A：高まっている B：変わらない C：薄れている	
施策項目	施策1 生涯学習の推進			事業の効率性 【見直す余地】	A	A：余地はない B：余地はある	
事業	市民会館整備			施策への貢献度	A	A：貢献している B：やや貢献している C：貢献の度合いが低い	
所属	生涯学習スポーツ課			事業の成果・分析 市民会館の開設（昭和54年）以降、更新していない設備等があることから、必要な更新等を行い、施設の安全性の確保を図った。			
事業概要	市民会館利用者の安全管理や利用促進を図るため、施設の改良改修工事等を行う。						
実施形態	<input checked="" type="checkbox"/> 市が直接実施 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 全部委託・指定管理 <input type="checkbox"/> その他						
実施根拠	<input type="checkbox"/> 国・県の制度 <input type="checkbox"/> 国・県の制度+市独自の制度 <input checked="" type="checkbox"/> 市独自の制度						
根拠法令等	なし						
2 事業実績 (Do)				4 事業の今後の方向性・取組方針 (Action)			
		年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
予算 ・ 決算	予算現額 (円)		0	6,239,000			
	財源内訳	一般財源	0	6,239,000			
		特定財源等	0	0			
	支出済額 (円)		0	6,182,000			
	不用額 (円)		0	57,000			
	執行率 (%)			99.09%			
実施内容		市民会館利用者の安全管理や利用促進を図るため、施設の改良改修工事等を行った。 ・防火シャッター危害防止装置設置工事 ・非常用発電装置空気圧縮機電磁弁更新工事					
		年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
活動 指標 ・ 成果 指標	指標名	単位					
	工事件数	件		2			
	工事金額	円		6182000			
今後の方向性		Ⅲ		I：事業規模拡大 II：改善しながら継続 III：現状のまま継続 IV：事業規模縮小 V：事業廃止 VI：事業終了			
今後の取組方針		今後も引き続き、優先順位を検討し、計画的に施設の改修工事等を行う。					

第5次新座市総合計画実施計画 事務事業評価シート (対象：令和6年度実施事業)

1 事業基礎情報 (Plan)				3 事業評価 (Check)			
基本政策	第2章 基本政策2 生きる力と生きがいを育むまち【教育文化】			事業の実施状況	B	A：計画以上に実施 B：計画どおりに実施 C：計画どおりに実施できず	
施策領域	第4節 生涯学習			事業の必要性【市民ニーズ】	B	A：高まっている B：変わらない C：薄れている	
施策項目	施策1 生涯学習の推進			事業の効率性【見直す余地】	A	A：余地はない B：余地はある	
事業	公民館施設管理			施策への貢献度	A	A：貢献している B：やや貢献している C：貢献の度合いが低い	
所属	中央公民館			事業の成果・分析	公民館（5館）及びコミュニティセンター（2館）に係る運営及び維持管理を行った。		
事業概要	公民館及びコミュニティセンターに係る運営管理を行う。 1 公民館（5館） 中央公民館、栄公民館、栗原公民館、畑中公民館、大和田公民館 2 コミュニティセンター（2館） 東北コミュニティセンター、西堀・新堀コミュニティセンター						
実施形態	<input checked="" type="checkbox"/> 市が直接実施 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 全部委託・指定管理 <input type="checkbox"/> その他						
実施根拠	<input checked="" type="checkbox"/> 国・県の制度 <input type="checkbox"/> 国・県の制度＋市独自の制度 <input type="checkbox"/> 市独自の制度						
根拠法令等	社会教育法第5条第1項第3号						
2 事業実績 (Do)				4 事業の今後の方向性・取組方針 (Action)			
		年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
予算・決算	予算現額（円）		103,044,000	108,245,000			
	財源内訳	一般財源	86,472,000	96,931,000			
		特定財源等	16,572,000	11,314,000			
	支出済額（円）		97,093,792	100,289,678			
	不用額（円）		5,950,208	7,955,322			
	執行率（%）		94.23%	92.65%			
実施内容		公民館及びコミュニティセンターに係る運営管理を行った。 1 公民館（5館） 中央公民館、栄公民館、栗原公民館、畑中公民館、大和田公民館 2 コミュニティセンター（2館） 東北コミュニティセンター、西堀・新堀コミュニティセンター					
		年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
活動指標・成果指標	指標名	単位					
	施設等修繕箇所数	か所	28	32			
	利用者数	人	192866	202339			
今後の方向性		Ⅲ		I：事業規模拡大 II：改善しながら継続 III：現状のまま継続 IV：事業規模縮小 V：事業廃止 VI：事業終了			
今後の取組方針		引き続き、公民館（5館）及びコミュニティセンター（2館）に係る運営及び維持管理を行う。					

第5次新座市総合計画実施計画 事務事業評価シート (対象：令和6年度実施事業)

1 事業基礎情報 (Plan)				3 事業評価 (Check)			
基本政策	第2章 基本政策2 生きる力と生きがいを育むまち【教育文化】			事業の実施状況	B	A：計画以上に実施 B：計画どおりに実施 C：計画どおりに実施できず	
施策領域	第4節 生涯学習			事業の必要性【市民ニーズ】	B	A：高まっている B：変わらない C：薄れている	
施策項目	施策1 生涯学習の推進			事業の効率性【見直す余地】	A	A：余地はない B：余地はある	
事業	公民館施設整備			施策への貢献度	A	A：貢献している B：やや貢献している C：貢献の度合いが低い	
所属	中央公民館			事業の成果・分析	公民館及びコミュニティセンター施設の機能維持・向上のための施設整備について、予定どおり行った。令和5年度は、LED交換工事や自動ドア交換工事等実施したことにより件数増となった。		
事業概要	公民館及びコミュニティセンター施設の機能維持・向上のための施設整備を行う。						
実施形態	<input checked="" type="checkbox"/> 市が直接実施 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 全部委託・指定管理 <input type="checkbox"/> その他						
実施根拠	<input checked="" type="checkbox"/> 国・県の制度 <input type="checkbox"/> 国・県の制度+市独自の制度 <input type="checkbox"/> 市独自の制度						
根拠法令等	なし						
2 事業実績 (Do)				4 事業の今後の方向性・取組方針 (Action)			
		年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
予算・決算	予算現額(円)		12,450,000	22,649,000			
	財源内訳	一般財源	12,450,000	4,049,000			
		特定財源等	0	18,600,000			
	支出済額(円)		12,311,200	19,206,000			
	不用額(円)		138,800	3,443,000			
	執行率(%)		98.89%	84.80%			
実施内容		公民館及びコミュニティセンター施設の機能維持・向上のための施設整備を行うとともに、新座市立栄公民館長寿命化改修工事の実施設計を行った。					
		年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
活動指標・成果指標	指標名	単位					
	工事件数	件	8	2			
	委託件数	件	1	1			
今後の方向性		Ⅲ		I：事業規模拡大 II：改善しながら継続 III：現状のまま継続 IV：事業規模縮小 V：事業廃止 VI：事業終了			
今後の取組方針		引き続き、公民館及びコミュニティセンター施設の機能維持・向上のための施設整備を行う。					

第5次新座市総合計画実施計画 事務事業評価シート (対象：令和6年度実施事業)

1 事業基礎情報 (Plan)				3 事業評価 (Check)			
基本政策	第2章 基本政策2 生きる力と生きがいを育むまち【教育文化】			事業の実施状況	B	A：計画以上に実施 B：計画どおりに実施 C：計画どおりに実施できず	
施策領域	第4節 生涯学習			事業の必要性【市民ニーズ】	B	A：高まっている B：変わらない C：薄れている	
施策項目	施策1 生涯学習の推進			事業の効率性【見直す余地】	A	A：余地はない B：余地はある	
事業	公民館講座			施策への貢献度	A	A：貢献している B：やや貢献している C：貢献の度合いが低い	
所属	中央公民館			事業の成果・分析	市民の多様な学習ニーズに対応するため、各種講座を開催することで、学習機会を提供することができた。		
事業概要	市民の多様な学習ニーズに対応するため、学習機会を提供し、各種講座を行う。 実施予定講座 家庭教育・国際理解と交流・子どもたちの体験的学習・環境・芸術・文化・高齢社会・グループ・サークルとの連携・市民参画・観光・IT・人権に関する講座など						
実施形態	<input checked="" type="checkbox"/> 市が直接実施 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> その他						
実施根拠	<input checked="" type="checkbox"/> 国・県の制度 <input type="checkbox"/> 国・県の制度+市独自の制度 <input type="checkbox"/> 市独自の制度						
根拠法令等	社会教育法第22条第1項関係						
2 事業実績 (Do)				4 事業の今後の方向性・取組方針 (Action)			
		年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
予算・決算	予算現額(円)		6,164,000	6,644,000			
	財源内訳	一般財源	5,842,000	6,644,000			
		特定財源等	322,000	0			
	支出済額(円)		5,974,668	6,128,982			
	不用額(円)		189,332	515,018			
	執行率(%)		96.93%	92.25%			
実施内容		市民の多様な学習ニーズに対応するため、学習機会を提供し、各種講座を行った。 【実施講座】 家庭教育・国際理解と交流・子どもたちの体験的学習・環境・文化芸術・高齢社会・グループ・サークルとの連携・市民参画・観光・IT・人権に関する講座など					
		年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
活動指標・成果指標	指標名	単位					
	講座数	講座	260	260			
	延べ受講者数	人	9243	9932			
今後の方向性		Ⅲ		I：事業規模拡大 II：改善しながら継続 III：現状のまま継続 IV：事業規模縮小 V：事業廃止 VI：事業終了			
今後の取組方針		引き続き、市民の多様な学習ニーズに対応するため、各種講座を開催し、市民に学習機会を提供していく。					

第5次新座市総合計画実施計画 事務事業評価シート (対象：令和6年度実施事業)

1 事業基礎情報 (Plan)				3 事業評価 (Check)			
基本政策	第2章 基本政策2 生きる力と生きがいを育むまち【教育文化】			事業の実施状況	B	A：計画以上に実施 B：計画どおりに実施 C：計画どおりに実施できず	
施策領域	第4節 生涯学習			事業の必要性 【市民ニーズ】	B	A：高まっている B：変わらない C：薄れている	
施策項目	施策1 生涯学習の推進			事業の効率性 【見直す余地】	A	A：余地はない B：余地はある	
事業	社会教育指導員			施策への貢献度	A	A：貢献している B：やや貢献している C：貢献の度合いが低い	
所属	中央公民館			事業の成果・分析	公民館・コミュニティセンターにおける講座の企画・運営を行うことで、社会教育の奨励を図った。また、サークルの育成支援を行った。		
事業概要	公民館・コミュニティセンターにおける講座の企画・運営、利用者の学習指導、サークルの育成等を行う社会教育指導員を配置し、市民の社会教育奨励を図る。 社会教育指導員 7人						
実施形態	<input checked="" type="checkbox"/> 市が直接実施 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 全部委託・指定管理 <input type="checkbox"/> その他						
実施根拠	<input type="checkbox"/> 国・県の制度 <input checked="" type="checkbox"/> 国・県の制度+市独自の制度 <input type="checkbox"/> 市独自の制度						
根拠法令等	なし						
2 事業実績 (Do)				4 事業の今後の方向性・取組方針 (Action)			
		年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
予算・決算	予算現額 (円)		10,348,000	13,958,000			
	財源内訳	一般財源	10,348,000	13,958,000			
		特定財源等	0	0			
	支出済額 (円)		9,994,187	13,444,824			
	不用額 (円)		353,813	513,176			
執行率 (%)		96.58%	96.32%				
実施内容		公民館・コミュニティセンターにおける講座の企画・運営、利用者の学習指導、サークルの育成等を行う社会教育指導員を配置し、市民の社会教育奨励を図った。 社会教育指導員 7人					
		年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
活動指標・成果指標	指標名	単位					
	社会教育指導員数	人	7	7			
今後の方向性		Ⅲ		I：事業規模拡大 II：改善しながら継続 III：現状のまま継続 IV：事業規模縮小 V：事業廃止 VI：事業終了			
今後の取組方針		引き続き、公民館・コミュニティセンターにおける講座の企画・運営等を行い、市民へ社会教育の場を提供していくとともに、サークルの育成等にも努めていきたい。					

第5次新座市総合計画実施計画 事務事業評価シート (対象：令和6年度実施事業)

1 事業基礎情報 (Plan)				3 事業評価 (Check)			
基本政策	第2章 基本政策2 生きる力と生きがいを育むまち【教育文化】			事業の実施状況	B	A：計画以上に実施 B：計画どおりに実施 C：計画どおりに実施できず	
施策領域	第4節 生涯学習			事業の必要性 【市民ニーズ】	B	A：高まっている B：変わらない C：薄れている	
施策項目	施策1 生涯学習の推進			事業の効率性 【見直す余地】	A	A：余地はない B：余地はある	
事業	ふるさと新座館施設管理			施策への貢献度	A	A：貢献している B：やや貢献している C：貢献の度合いが低い	
所属	中央公民館			事業の成果・分析	ふるさと新座館に係る運営管理について、予定どおり行った。令和4年度から、株式会社セイウンを指定管理者として、ふるさと新座館に係る運営管理を行っている。工事件数について、令和5年度は、電話機器の故障等により件数増となった。		
事業概要	ふるさと新座館に係る運営管理を行う。 株式会社セイウンを指定管理者とする（令和4年度～令和8年度）。						
実施形態	<input type="checkbox"/> 市が直接実施 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input checked="" type="checkbox"/> 全部委託・指定管理 <input type="checkbox"/> その他						
実施根拠	<input checked="" type="checkbox"/> 国・県の制度 <input type="checkbox"/> 国・県の制度+市独自の制度 <input type="checkbox"/> 市独自の制度						
根拠法令等	地方自治法第244条の2第3項						
2 事業実績 (Do)				4 事業の今後の方向性・取組方針 (Action)			
		年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
予算・決算	予算現額 (円)		53,800,000	50,738,000			
	財源内訳	一般財源	52,411,000	49,328,000			
		特定財源等	1,389,000	1,410,000			
	支出済額 (円)		53,720,530	50,569,989			
	不用額 (円)		79,470	168,011			
	執行率 (%)		99.85%	99.67%			
実施内容		ふるさと新座館に係る運営及び施設管理を行った。					
		年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
活動指標・成果指標	指標名	単位					
	施設等修繕箇所数	か所	6	3			
今後の方向性		Ⅲ					
		I：事業規模拡大 II：改善しながら継続 III：現状のまま継続 IV：事業規模縮小 V：事業廃止 VI：事業終了					
今後の取組方針		引き続き、ふるさと新座館に係る運営及び施設維持管理を行う。					

第5次新座市総合計画実施計画 事務事業評価シート

(対象：令和6年度実施事業)

1 事業基礎情報 (Plan)				3 事業評価 (Check)			
基本政策	第2章 基本政策2 生きる力と生きがいを育むまち【教育文化】			事業の実施状況	B	A：計画以上に実施 B：計画どおりに実施 C：計画どおりに実施できず	
施策領域	第4節 生涯学習			事業の必要性【市民ニーズ】	B	A：高まっている B：変わらない C：薄れている	
施策項目	施策1 生涯学習の推進			事業の効率性【見直す余地】	B	A：余地はない B：余地はある	
事業	図書館資料整備			施策への貢献度	A	A：貢献している B：やや貢献している C：貢献の度合いが低い	
所属	中央図書館			事業の成果・分析	市民の多様な要望に応えるため、図書や新聞、雑誌等の資料を購入し、蔵書の充実を図った。有料データベースも導入し、市民の学習活動及び調査研究を推進する環境を整備した。 電子図書館のコンテンツについては、令和6年度中に期限切れになるコンテンツ数が前年度に比べて少ないことから購入点数は減少したが、コンテンツ総数は維持し、電子図書館の充実を図った。電子図書館や電子申請による利用登録や講座申込等、DX推進及び非来館型サービスを推進した。		
事業概要	市民の学習活動、調査研究その他の多種多様な要望に応じるため、蔵書の充実を図る。						
実施形態	<input checked="" type="checkbox"/> 市が直接実施 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 全部委託・指定管理 <input type="checkbox"/> その他						
実施根拠	<input type="checkbox"/> 国・県の制度 <input type="checkbox"/> 国・県の制度+市独自の制度 <input checked="" type="checkbox"/> 市独自の制度						
根拠法令等	新座市立図書館条例						
2 事業実績 (Do)				4 事業の今後の方向性・取組方針 (Action)			
		年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
予算・決算	予算現額(円)		52,368,000	47,797,000			
	財源内訳	一般財源	52,368,000	47,797,000			
		特定財源等	0	0			
	支出済額(円)		52,307,916	47,690,459			
	不用額(円)		60,084	106,541			
執行率(%)		99.89%	99.78%				
実施内容		図書等図書館資料を購入し、資料の充実を図った。					
		年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
活動指標・成果指標	指標名	単位					
	新聞・雑誌購入タイトル数	タイトル	338	331			
	図書・視聴覚資料購入点数	点	15221	15410			
	電子図書館資料購入点数	点	2321	457			
今後の方向性		II		I：事業規模拡大 II：改善しながら継続 III：現状のまま継続 IV：事業規模縮小 V：事業廃止 VI：事業終了			
今後の取組方針		地域の知の拠点として、市民の学習活動及び調査研究その他多種多様な要望に応じるために、蔵書の充実が必要不可欠である。生涯にわたる学びを支援するため、多様な年代に対応した資料を揃え、提供していく。 また、地域の情報拠点としての機能として、デジタル化に対応したサービスの充実も図っていく。					

第5次新座市総合計画実施計画 事務事業評価シート (対象：令和6年度実施事業)

1 事業基礎情報 (Plan)		3 事業評価 (Check)			
基本政策	第2章 基本政策2 生きる力と生きがいを育むまち【教育文化】	事業の実施状況	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="text-align: center; font-size: 2em;">B</td> <td>A：計画以上に実施 B：計画どおりに実施 C：計画どおりに実施できず</td> </tr> </table>	B	A：計画以上に実施 B：計画どおりに実施 C：計画どおりに実施できず
B	A：計画以上に実施 B：計画どおりに実施 C：計画どおりに実施できず				
施策領域	第4節 生涯学習	事業の必要性 【市民ニーズ】	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="text-align: center; font-size: 2em;">B</td> <td>A：高まっている B：変わらない C：薄れている</td> </tr> </table>	B	A：高まっている B：変わらない C：薄れている
B	A：高まっている B：変わらない C：薄れている				
施策項目	施策1 生涯学習の推進	事業の効率性 【見直す余地】	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="text-align: center; font-size: 2em;">B</td> <td>A：余地はない B：余地はある</td> </tr> </table>	B	A：余地はない B：余地はある
B	A：余地はない B：余地はある				
事業	図書館施設管理	施策への貢献度	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="text-align: center; font-size: 2em;">A</td> <td>A：貢献している B：やや貢献している C：貢献の度合いが低い</td> </tr> </table>	A	A：貢献している B：やや貢献している C：貢献の度合いが低い
A	A：貢献している B：やや貢献している C：貢献の度合いが低い				
所属	中央図書館	事業の成果・分析	令和5年度と比較し、全体的な貸出数は減少しているが、サービススポット及び一部分館では貸出者数が増加しており、地域の知的インフラとしての重要性は増している。電子化、情報化が進み変化の大きい環境下において、図書館への住民要望も高度化・多様化しており、新たな課題への対応が求められている。		
事業概要	中央図書館の運営管理を行う。また、業務用端末機器については、福祉の里図書館、分館5館、東北コミュニティセンターサービススポット及び栗原5丁目図書サービススポット（ビブリア）分を含めて維持管理を行う。福祉の里図書館及び中央図書館分館5館については、株式会社図書館流通センターを指定管理者とする（令和4年度～令和8年度）。				
実施形態	<input checked="" type="checkbox"/> 市が直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 全部委託・指定管理 <input type="checkbox"/> その他				
実施根拠	<input type="checkbox"/> 国・県の制度 <input type="checkbox"/> 国・県の制度+市独自の制度 <input checked="" type="checkbox"/> 市独自の制度				
根拠法令等	新座市立図書館条例				

2 事業実績 (Do)		4 事業の今後の方向性・取組方針 (Action)							
	年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度			
予算・決算	予算現額 (円)	112,122,000	112,338,000				II	I：事業規模拡大 II：改善しながら継続 III：現状のまま継続 IV：事業規模縮小 V：事業廃止 VI：事業終了	
	財源内訳	一般財源	112,122,000	112,338,000					
		特定財源等	0	0					
	支出済額 (円)	110,858,451	111,507,740						
	不用額 (円)	1,263,549	830,260						
	執行率 (%)	98.87%	99.26%						
実施内容	地域の学習の拠点として、市内図書館網を整備し、利用の促進に努めた。福祉の里図書館及び新座市立図書館分館において指定管理者制度を導入し、図書館運営の効率化及び利用の促進に努めた。市の南部及び北部にサービススポットを設置し、利用者の利便性の向上を図った。						地域の学びを支援する場として、多様な利用者の要望等に応えることのできる資料及び人員体制を充実させ、非来館型サービスも含め利用の促進を図っていく必要がある。地域の課題解決へ向けた対応が必要である。		
	年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度			
活動指標・成果指標	指標名	単位						今後の取組方針	
	中央図書館貸出冊数	点	315,129	300,046					
	福祉の里図書館及び分館5館貸出冊数	点	315642	285334					
	東北コミセンサービススポット貸出冊数	点	59339	60255					
	栗原5丁目サービススポット貸出冊数	点	12889	16891					

第5次新座市総合計画実施計画 事務事業評価シート

(対象：令和6年度実施事業)

1 事業基礎情報 (Plan)				3 事業評価 (Check)				
基本政策	第2章 基本政策2 生きる力と生きがいを育むまち【教育文化】			事業の実施状況	B	A：計画以上に実施 B：計画どおりに実施 C：計画どおりに実施できず		
施策領域	第4節 生涯学習			事業の必要性【市民ニーズ】	A	A：高まっている B：変わらない C：薄れている		
施策項目	施策1 生涯学習の推進			事業の効率性【見直す余地】	B	A：余地はない B：余地はある		
事業	図書館講座、講習等			施策への貢献度	A	A：貢献している B：やや貢献している C：貢献の度合いが低い		
所属	中央図書館			事業の成果・分析	7年ぶりに図書館ボランティア養成にかかる講座を実施し、図書館ボランティアの委嘱を行った。受講者は大変熱心に参加し、子どもの読書への関心の高さがうかがえた。読書のバリアフリー化に欠かすことのできない障がい者サービスへの協力を得ている朗読・点訳ボランティアの技術向上のための講習も必要な事業である。			
事業概要	図書館利用の推進及び市民文化振興の一助として、講座、講習会等を開催する。また、地域の子育て支援策として、親子に本の楽しさを伝えるブックスタート事業（はじめてブックの配布）を行う。							
実施形態	■市が直接実施 □一部委託 □全部委託・指定管理 □その他							
実施根拠	□国・県の制度 □国・県の制度+市独自の制度 ■市独自の制度							
根拠法令等	新座市立図書館条例							
2 事業実績 (Do)				4 事業の今後の方向性・取組方針 (Action)				
予算・決算	年度		令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	
	財源内訳	予算現額 (円)		505,000	738,000			
		一般財源		505,000	738,000			
		特定財源等		0	0			
	支出済額 (円)		449,808	708,364				
	不用額 (円)		55,192	29,636				
執行率 (%)		89.07%	95.98%					
実施内容			5月〈子ども読書フェスティバルお楽しみ会〉参加人数：106人 8月〈夏の科学遊び講座〉参加人数：19人、〈夏のワークショップ〉参加人数：17人 10月〈秋の読書週間フェスティバル 絵本講座〉参加人数：48人 11月〈点訳講習会〉参加人数：6人、12月〈冬のおたのしみ会〉参加人数：62名 3月〈デジタルカメラ講座〉参加人数：10人 6月～3月〈朗読講習会〉(全4回)参加人数：21人 11月～2月〈子どもの読書応援講座〉(全10回)参加人数：148人 ※ブックスタート事業については、絵本の配布は行わず、ブックリストを送付した。					
活動指標・成果指標	年度		令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	
	指標名		単位					
	講座延べ回数		回	10	21			
	講座延べ参加者数		人	295	389			
今後の方向性		II		I：事業規模拡大 II：改善しながら継続 III：現状のまま継続 IV：事業規模縮小 V：事業廃止 VI：事業終了				
今後の取組方針		子どもの読書活動推進のため協働している図書館ボランティアについては、高齢化や新型コロナウイルス感染拡大期間中の活動の停止による協力者の減少があり、図書館活動を再開するにあたり新規参加者の養成が急務である。子どもの読書活動を推進するために必要な知識や技術を習得するためのボランティア養成講座を実施する。 市民を対象とした講座については、引き続き継続して実施する。 子育て支援のためのブックスタート事業（はじめてブック）については、乳幼児健診が個別健診になり、絵本の配布は困難な状況である。乳幼児と保護者へ向けた取組として、乳幼児健診対象者へおすすめの絵本のブックリストを送付するとともに、「あかちゃんタイム」及び「赤ちゃんおはなし会」の場で、保護者と乳幼児に対して読み聞かせの意義や読書活動の推進に関する啓発を行っていく。						